

三潯町農業協同組合

迎春





年頭のごあいさつ



三潴町農業協同組合
代表理事組合長 江島 光二

明けましておめでとうございます。

組合員の皆様方には輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

令和3年の農業を巡る情勢については、農業を支える基幹的農業従事者が年々高齢化し担い手の確保が急務であるとともに、近年の度重なる様々な自然災害により、農業の持続可能性が懸念される状況となっています。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大は、我が国の社会、人々の生活に甚大な影響をもたらし、特に経済情勢は深刻な影響を受けました。

こうした状況を踏まえ、JAグループ福岡では、令和3年開催の第43回JA福岡県大会で決議したJAグループ福岡中期方針に則り、本大会においては、「3カ年計画」を基本に「実践から浸透へ自己改革で実現する持続可能な未来へ向けたJAの役割発揮」並びに「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に向け、引き続き現場から要望把握に注力し、コロナ禍を乗り越えていきます。また、福岡県農業の振興や地域の活性化、さらにJA事業の成長戦略及び効率化戦略を通じたJA経営基盤の確立・強化に全力で取り組みを進めて参ります。

JAみづまでは、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言に伴いこれまで会議やイベントが開催できない状況でしたが、下期に入り緊急事態宣言が解除され、少しずつ事業活動に活気を取り戻しつつあります。また、これまでの産地の努力を無駄にすることなく、国を挙げて、食料自給率・自給力の向上に向け、引き続き生産者が安心して農業生産に取り組み、農産物の需給並びに価格の安定と農業所得のさらなる向上を図るため、十分な予算の確保等に万全を期すようJAグループとして国会に要請を行いました。

役職員はこれまで以上に組合員・地域住民にとって必要不可欠な存在となることを目指し「やっぱりJAみづまで良かった」という声を集められるよう、取り組んで参ります。

最後になりますが、この新しい年がより良い年となりますよう心より祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

代表理事組合長 江島 光二

代表理事専務 田中 義信

金融共済担当常務理事 野田 司



JA福岡県大会開催

JA常勤役員及び非常勤役員の7名は11月17日にアクロス福岡でJAグループ福岡が主催する第43回福岡県大会に参加しました。

大会では県内JAの役職員300名が参加し、農業者の所得増大や地域社会への貢献を目標に、食料・農業基盤の確立・強化等4本柱からなる中期方針を決めました。

農業を強く、元気に、もっと身近に 組合員の想いを実現できるJAへ

～ 実践から浸透へ 自己改革で実現する持続可能な未来へ向けたJAの役割発揮 ～
JAグループ福岡中期方針 全体図

JAグループ福岡2030年ビジョン

2030年JAグループ福岡が果たしている役割

①『農業者の所得増大』の実現による持続可能な地域農業の確立

“安全”で“安心”な福岡県産農産物を“安定”して販売・供給するための生産・出荷体制が構築され、福岡県産農産物ブランドに対する生産者と消費者の信頼が築かれています。また、高い専門性を持った営農指導員が育成・配置され、重点市場を中心とした有利販売に加え、直販・直売等による地産地消の仕組みが確立されています。更にICTを活用したスマート農業が定着するとともに、JA域を越えた施設利用や農業生産コスト（資材・利用料等）の削減等、トータルコスト低減により農業所得の増大が実現されています。

②豊かでくらしやすい地域社会への貢献

地域社会に根ざした組織として、JAの組織基盤が強化され、アクティブ・メンバーシップの取り組みにより、准組合員や女性の運営参画の機会が広がっています。また、対話活動等を通じて組合員や利用者の声を踏まえ、協同組合間連携等を活用して、地域に喜ばれるサービス（事業）が提供されています。

広報分野では、「食」と「農」、「地域」とこれらを支える「JA」の情報発信の強化により、組合員や地域住民のJAに対する信頼と共感づくりがすすんでいます。また、食料安全保障の強化や食料自給率の向上に関する国民・県民の理解がすすんでいます。加えて、SDGs（持続可能な開発目標）に即したJAの事業・活動を通じて、持続可能な経済・地域社会づくりへの貢献が広く認知されています。

③地域農業の確立と地域社会に貢献できる組織・経営体制の確立

持続可能な地域農業を確立し、豊かでくらしやすい地域社会の実現に貢献するため、JA内における事業の効率化・スリム化や、JA間での事業・業務の共同化や合併、連合会を含めた共同事業等により、持続可能な経営基盤（組織・経営体制）が確立されています。

また、県域オールJAの実現に向けた取り組みが着実に進展しています。

めざす姿を踏まえて中期方針等を策定

中期方針等の実践により実現をめざす

農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化

I. 食料・農業基盤の確立・強化

- 目標項目1. 多様な担い手経営体による地域農業維持・発展
- 目標項目2. 需要に応じた販売の強化とコスト低減による所得増大
- 目標項目3. あらゆる環境に対応できる持続可能な農業生産の拡大



II. 地域・組織・事業基盤の確立・強化

- 目標項目1. 組合員の拡大と「アクティブ・メンバーシップ」の確立
- 目標項目2. 健やかでくらしやすい地域社会への貢献とJA総合事業を通じた豊かなくらしの支援
- 目標項目3. 「食」「農」「地域」「JA」「協同組合」にかかる国民・県民理解の醸成



III. JA経営基盤の確立・強化

- 目標項目1. 事業部門収支改善による持続可能なJA経営基盤の確立・強化
- 目標項目2. ガバナンス・内部統制の確立と経営の健全性確保
- 目標項目3. 協同組合の価値を創出する人づくり
- 目標項目4. 中央会・連合会等によるJA総合事業の支援・補完



IV. JAグループ福岡の組織再編戦略の実現に向けて

11/6 大豆収穫開始

ＪＡ管内では大豆の収穫時期を迎えました。

令和３年産は「フクユタカ」約２００ヘクタール、「ちくしＢ５号」約１ヘクタールの作付けが行われ、作付面積の約４割の収穫をＪＡが受託、２人１組となってコンバイン５台で収穫を行いました。

収穫された大豆は乾燥され、大豆調整施設にて順次調整、出荷されています。

３年産は８月の大雨により圃場の湛水被害が多発した影響で昨年に比べ減収が予想されます。

ＪＡでは農家所得の減少を防ぐため、オペレーター研修会を通じて収穫ロスの削減や汚損粒発生防止のために内部教育を行っています。



11/8 農業用廃棄プラスチック回収

久留米市三潴町農業用廃プラスチック等適正処理推進協議会は本所で農業用廃プラスチック等を回収しました。

生産者は不要になった農業用のマルチや廃ビニール等を持ち込み、種類別に決められた場所に運んで行きました。

ＪＡは環境保全に取り組むため協議会に参加し、農業用の廃プラスチック等の適正処理を推進しています。



11/9 イチゴ出荷前研修会

営農経済部特産課は本所３階大研修室でイチゴ出荷前研修会を開き、生産者３２名が出席しました。

福岡県朝倉農林事務所久留米普及指導センター、ＪＡ全農ふくれんより今後の温度管理や病虫害防除、販売を取り巻く環境、部会の定植状況の説明や詰める時は規格に合わせて行うよう注意を促し、生産者は真剣に説明を聞いていました。



11/15

高良大社に新米奉獻

J Aは久留米市御井町の高良大社に新米のヒノヒカリ120キログラムを奉獻しました。

奉獻した新米は新嘗祭でご神前に供えられます。

新嘗祭はその年の収穫に感謝をするとともに、来年の豊穰を願う行事で毎年行われています。



11/19

イチゴ共同出荷開始

J A管内ではイチゴの収穫時期を迎え、たまねぎ・いちご集荷場には多くのイチゴが次々と運び込まれました。

出荷初日、J Aいちご部会中村部会長と江島代表理事組合長は検査員に激励の言葉を送りました。

運び込まれたイチゴは検査員が厳しく出荷規格の確認を行った後、福岡大同青果と大果大阪青果北部支社、東京新宿ベジフルへと出荷されます。

令和3年産は生産者数58名、作付面積約11ヘクタールで出荷数量422トン(前年比103パーセント)を目指します。



11/20

久留米市農業表彰式典

久留米市は道の駅くるめで令和3年度農業表彰式を開き、J A管内からは堤豊さんが表彰されました。

堤さんは高い生産技術により、部会の発展や担い手・後継者の育成、経営改善による所得の向上や農地保全の取り組み等、地域の農業振興に尽力・貢献したことが認められ、農業功労者賞を受賞されました。また、堤さんは受賞者を代表して、「とても光栄なこと。今後も地域農業の発展に尽力していく」と感謝と今後の意気込みを話しました。



令和3年分確定申告について

令和3年分の確定申告は、2月1日(火)から受付を開始しますので、書類がそろえば早めにご来場ください。

※1月28日(金)までは事前予約制としています。

貴方は、どちらの方法で申告されますか？

A.申告会場に行かずに、自宅等からe-Taxで申告をする。

国税庁ホームページで、申告書の作成・送信ができます。

スマートフォンからの申告も可能です。

スマホの方はこちらから



B.申告会場に行って、順番を待ち、習いながら申告する。

感染防止対策のため「入場整理券」が必要です。

【申告会場】

久留米税務署
久留米市諏訪野町2401の10

【設置期間】

令和4年2月1日(火)から
3月31日(木)まで
※土曜日、日曜日及び祝日は休みとなります。

【受付時間】

午前9時から午後4時まで

【お問い合わせ先】

久留米税務署 TEL:0942-32-4461
※自動音声案内に従い「2」を選択してください。



家族の健康

健康科学アドバイザー●福田千晶

飲酒と睡眠の関係

農作業の後の飲酒が楽しみな人は多いでしょう。「飲んだ後はぐっすり眠れる」と言う人も多いようです。しかし、飲んで寝ると夜中に目が覚めてしまう悩みもあります。

アルコールは脳の活動を抑えるので、飲んだ後はリラックスして寝付きやすくなります。寝付いてしばらくは、アルコールが分解されて発生するアセトアルデヒドの作用で、レム睡眠(体は休んでいるが脳は活動している浅い眠り)を抑えて深く眠れます。しかし、睡眠の後半になると、その反動でレム睡眠が多くなるため、小さな刺激でも目覚めてしまいがちです。

浅い眠りの期間には、わずかな物音や明かり、同室者のいびきや寝息、屋外の鳥のさえずりで目が覚めることがあります。また、飲んで寝ると睡眠中に尿意を感じたり、喉が渇いたりすると、すぐに目覚めてしまいます。

飲酒後の睡眠中は、筋肉が緩んで喉がふさがりやすく、呼吸が一時的に止まり(無呼吸)、苦しさで起きてしまうこともあります。普段から睡眠時無呼吸症候群の人は、特に飲酒後の睡眠中に呼吸が止まりやすくなります。

おいしくアルコールを飲んで、リラックスして良い気分になり、ぐっすり眠るところまでは良いですが……、睡眠途中で目覚めてしまい、その後は寝付けず睡眠が不完全なまま朝を迎えることになりかねません。そして、日中になって疲れや眠気を感じるようになります。飲酒量が増えたり、飲酒習慣の期間が長くなると、その傾向は増強されます。

アルコールは少量を楽しむにとどめ、量を増やさないことが大切です。週2日は飲酒を控え、「飲まなくても過ごせる」「飲まなくても眠れる」と自信を持ち、アルコールに依存しない意識も必要です。



13の人権の課題

その3

★子ども

虐待やいじめなど、子どもが被害者となる痛ましい事案が後を絶ちません。子どもは社会の希望、未来の力です。すべての子どもには人権を尊重され、社会に守られて健康に生きる権利があります。私たちには、子どもの人権を守り、健やかな成長を支援する責任があります。



心身諸機能の低下と共存する工夫

高齢化に伴って、心身諸機能が低下してくることは避けられません。しかし、低下を抑制する工夫や、体づくりをすることによって、重労働でなければ、事故に遭う確率も低下させることができます。

高齢化を認識するのは、体力、視力、聴力の低下と腰痛の発症です。腰痛は、後天的なものや先天的なものがありますが、背筋と腹筋を鍛えること、不自然な姿勢で物を持ち上げること避けることが一番です。どんな重さの物でも腰を落として膝を曲げ、良い姿勢を保ちながら力を入れることを習慣付けましょう。

加齢に伴って、疲労の発現が遅くなり、回復にも時間がかかるようになります。疲れを感じなくても作業後は多くの時間を疲労回復に充てましょう。つまみを取りながらの適量のアルコール摂取、適温での入浴は肉体疲労の回復に役立ちますが、農薬散布作業後のアルコールは禁止ですし、週に1度は休肝日を設けましょう。精神的な疲労回復には、読書などが良いでしょう。

休息によって疲労が回復できるときは良いのですが、疲労が取れず体のあちこちに愁訴を感じる時は、どこかに異常が起きている信号です。健康管理は「自助」の筆頭です。「つい忙しくて」「自覚症状があるけど医師に宣告されるのが怖い」など、後ろ向きの理由で健康を損ねることが中年以降の方の特徴です。定期健康診断を1年の予定に組み込みましょう。

疲労回復と体力維持にはストレッチ体操が有効です。1日10分のラジオ体操と、ストレッチ体操を行うことが大切です。ストレッチは、弾みをつけて筋肉を伸縮させるのではなくゆっくりと行うのがお勧めです。

高齢化による体力低下は徐々に進行するので本人は気付にくいかもしれませんが、周囲の人から見れば、ばれてしまっています。無理をせず、自分に合った農作業に取り組み、事故を起こさないよう行動してください。



手軽に健康 手指体操

健康生活研究所所長●堤 喜久雄

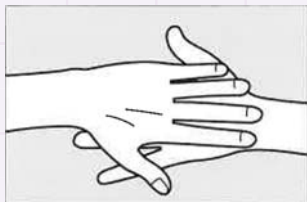
手のひら回転体操

東洋医学では、人体には経絡(けいらく)と呼ばれる気と血液のエネルギーの通り道があるとされており、その経絡上につぼが点在しています。経絡は全身を巡り、さまざまな臓器や筋肉につながっているため、つぼを刺激することは全身にアプローチすることになります。

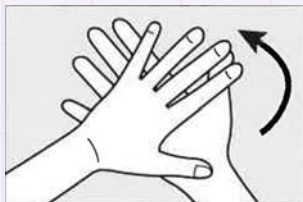
手のひらにもたくさんのつぼがあります。つぼを刺激する方法として、「押す」「なでる」「もむ」「たたく」「震わせる」「こねる」の六つがあり、今回は「押す」と「なでる」を合わせた体操をご紹介します。

手のひらを合わせ、つぼを押しながら互いにこすりながら回転させます。気と血液のエネルギーの巡りが良いと健康な状態が保たれます。どこでもできる簡単な体操なので、思い出したときにやる習慣を付けると良いでしょう。

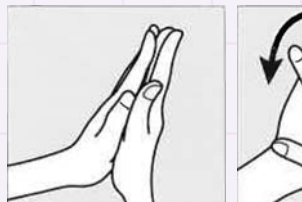
つぼをこすりながら動かす



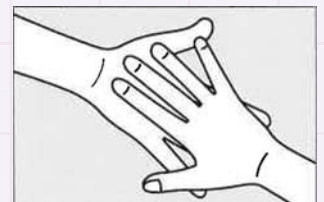
(1)手のひら同士を合わせます。両肘を張って腕を肩の高さまで上げ、床と平行になるように構えましょう。



(2)手のひらの中心を軸にして、手のひらをこすりながら指先が上向きに動くよう回転させます。



(3)途中で合掌のポーズになりますが、そのまま回転を続けます。



(4)180度回転させます。手前に来る手が左右交代します。逆方向へも同様に回転させて1セットです。これを5、6セット繰り返します。

ポイント

正しい姿勢を意識して背筋を伸ばし、できるだけ腕の高さを保ったまま行くと上半身の体幹も強化されます。

土曜朝市開催について

みづまの里農産物直売所では、1月15日(土)に土曜朝市を開催します。
直売所会員が作った新鮮野菜・加工品、三潅産のイチゴ「博多あまおう」、蒸したておこわや唐揚げ(手羽先・手羽元)などを販売します。
ぜひお越しください。

【日 時】令和4年1月15日(土) 8:30 ~ 12:00

【場 所】犬塚購買店

【お問い合わせ先】営農経済部 資材課 TEL:0942-64-4373

※犬塚購買店と資材集約センターは通常営業をしておりますのでご利用ください。

【新型コロナウイルス感染症対策】

朝市を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染症の予防として次のような対策を講じておりますのでご理解とご協力をお願いします。

- ・感染状況により中止とさせていただく場合がございます。
- ・職員はマスク着用で対応させていただきます。
- ・来場する際はマスク着用・手指消毒にご協力ください。
- ・密を避け距離を取ってください。
- ・咳や熱などの体調不良の方は来場をご遠慮ください。



お金を豆(マメ)に貯めよう!

節分祭

2/1(火)~2/28(月)の期間中に
定期積金新規ご契約していただいた方に
(掛込金額:5,000円以上契約期間:2年以上)
お米1キロプレゼント!※先着順!
また、期間中に来店していただいた方全員に
豆菓子をプレゼント!
詳しくはJAみづま金融共済部までお問い合わせください!!
0942-64-2212



JAバンク福岡

JAバンクで よかローン

第2期 令和4年 2月28日(月)まで

マイカーローン、教育ローン、フリー・多目的ローン、農機ハウスローンのいずれか新規ご契約の方

先着 **5,000** 名様に **プレゼント!!**

※プレゼントはご契約1件につき1枚となります。

マフラータオル

今すぐインターネットで
仮申込ができます!

JAバンクで
よかうも!

JAの組合員の方はこちら
JAバンク福岡
インターネットでよかローン!

※新たに組合員に加入いただける方も、ご利用いただけます。

JAとお取引のない方でもお気軽にご相談ください。
詳しくはJA窓口までおたずねください。

JAみづま

JAの組合員でない方はこちら

JAネットローン
24時間365日受付



<http://www.ja-mizuma.or.jp>



三潅町農業協同組合

〒830-0102 福岡県久留米市三潅町田川211
ホームページ: www.ja-mizuma.or.jp

お問い合わせ

(0942)

64-2211